

2011年度

科目名	日本風俗文化史B			
担当教員	乾 澄子			
配当	文 3・教育3・人間3		コード	53054
開期	後期	講時	金曜日3限	単位数 2
授業テーマ	日本の風俗と文化			
目的と概要	現在の私たちの風俗や文化には、さまざまな歴史的背景がある。なかでも自然観を中心とした、行事の多くは400年続いた平安時代の貴族たちによって育まれてきた。自然豊かな日本の風土において、四季折々の季節にふさわしい生活を送ることが、何より教養あるものとされてきた王朝人の知恵を学んで行きたい。そして現代まで受け継がれているもの、すでに消滅したもの、形を変えたものなど、現代との関わりを考えて見る。 また、同時に、外国の行事についても比較してみることによって、それぞれの風俗や文化に対する様子を学ぶ。			
成績評価法	学生による発表(50%)、期末のレポート(30%)、提出物、出席状況、授業への参加意欲(20%)			
テキスト	適宜プリントを配布			
参考書	必要に応じて授業時に指示			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	最初は講義形式で進めるが、後半は受講生による発表を主体とし、質疑を通じて内容を深めたい。			
講義計画				
<内容> ○今学期は主に平安時代の年中行事と貴族たちの日常生活について学び、現代の我々の生活とのつながりを考える。さまざまな行事について、『源氏物語』『紫式部日記』『枕草子』『古今集』などの文学作品を通じて当時の人々の感じ方、考え方を学習 ○世界各国の年末年始の過ごし方を比較し、人々の行事や風俗、文化に対する思いについて考える <スケジュール> 1 ガイダンス 2 王朝時代の基本的な社会的背景を説明 3 王朝の年中行事の概説 4-1 4 受講生による発表と討議 *年中行事の歴史的背景と現在…正月、葵祭、端午の節句、七夕、新嘗祭、歳末など *海外の年末年始の過ごし方 1 5 まとめ				